

岩手に新しいサービス誕生

『送受信代行サービス』

システムベース

システムベース（岩手県北上市村崎野一九一―一六一四、☎〇一九七―七一一一―一〇二）センターシステム部）は、東京ビッグサイトで三月四日～七日まで開催された「リテールテック JAPAN」（流通BMSソリューション&ステーション）で、『送受信代行サービス』などを紹介し、注目を集めた。

また、『あまちゃん』の故郷・岩手から流通BMSでがんとす』をテーマにセミナーを行い、多数の来場者があるなど盛況を収めた。

『送受信代行サービス』は、受注企業（卸・メーカー）を対象に、複数の発注企業（スーパー・量販店など）とのデータ送受信を代行するサービスである。

複数の取引先からの受注業務による煩雑なEDIシステムの利用をシステムベースが代行する。流通BMS、Web-EDI/従来型EDIの受信、ユーザー指定プロトコルでの受信、ユーザーフォーマットへの変換という主な機能により、人件費およびEDI設



備やシステム開発にかかる費用を軽減できる。

同システムを用いることにより、キメ細かいサービスを実現し、顧客獲得に貢献する。

《適用業務・提供サービス》

▽複数得意先からの発注データを代行受信Ⅱ同社データセンターが、小売業（スーパー/量販店など）

からの発注データを代行受信。従来のEDI送受信はもとより、流通BMSやWeb-EDIの送受信機能を備えているので、ほとんどのEDI送受信が可能。

▽ユーザー指定形式のフォーマットに変換Ⅱユーザーの自社システムに合わせた指定形式にフォーマット変換することによりシステム構築費を低減できる。また、新規追加の場合でも、

同社の豊富なEDI運用の実績を活かし、速やかな追加が可能。

▽ユーザープロトコルでのファイル転送Ⅱユーザー希望の通信プロトコルを利用することによりEDIに

関わる設備費用を軽減できる。また、将来的に新技術に対応する必要があっても、自社で研究・開発する

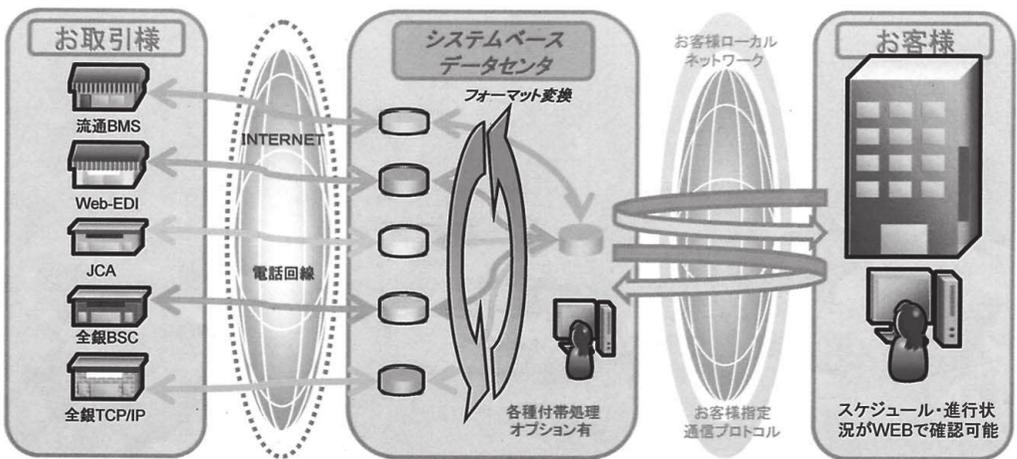
必要はなく、早期対応に向けてサービスを提供する。《導入メリット・効果》

①流通BMSをはじめとする受注業務のシステム対応コストが削減できる。

②取引先からの受注に関する業務を一本化し、対応一時的問い合わせ対応など対応コストの削減が可能。

③取引先や受注件数の増

<http://www.systemba.se.co.jp/>



送受信代行サービスの概要